

■ 大学院会計研究科 宮本勝浩教授らが推定 ■

奈良の大仏の建造費用は約4,657億円

～大仏鑄造・大仏殿建設の経済波及効果は約1兆246億円～

このたび、大学院会計研究科（会計専門職大学院）の宮本勝浩教授らが、平城遷都1,300年祭を迎えた奈良を代表する歴史遺産である「奈良の大仏」および大仏殿について、現在鑄造・建設した場合どの程度の費用を要するか推定しました。

計算の結果、現在価格にして建造費用は約4,657億円となり、さらに経済波及効果にいたっては約1兆246億円にのぼることが分かりました。分析結果について、次ページ以降にて詳しく紹介いたします。

記

- 1 テーマ 奈良の大仏の建造費用の推定
- 2 発表者 関西大学大学院会計研究科 教授 宮本 勝浩
摂南大学経済学部 講師 郭 進
大阪府立大学大学院経済学研究科 博士後期課程 王 秀芳
- 3 発表日 2010年8月4日（水）
- 4 内 容
 - (1) はじめに
 - (2) 大仏鑄造の材料費
 - (3) 大仏殿をはじめとする建築木材の費用
 - (4) 瓦の現在価格
 - (5) 大仏および大仏殿建造の人件費
 - (6) 木材、銅、金などの大仏、大仏殿の建造材料の輸送のための人件費
 - (7) 大仏、大仏殿の建造の労働者の住居費用
 - (8) まとめ

以 上

※ 分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨を付記してください。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 木村、北谷、小野

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ プロフィール

氏 名 宮本 勝浩 (みやもと・かつひろ)

生年月日 昭和20年1月12日 (65歳)

本 籍 和歌山県

現 職 関西大学 大学院会計研究科 教授

学 歴 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了
経済学博士 (神戸大学)

職 歴 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、平成18年4月より現職
この間 アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同濟大学、南京理工大
学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任

専門分野 国際経済学 (移行経済論)、理論経済学、関西経済論

著 書 「大阪経済学」共著、経営書院、「移行経済の理論」中央経済社など

公 職
財務省財政制度等審議会臨時委員
総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員
大阪府水道部経営・事業評価委員会委員長
大阪府市町村合併推進審議会会長
堺市人事委員会委員長
公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長
財団法人堺都市政策研究所理事長 など

業 績

2003年 「阪神優勝の経済効果」を発表

2004年 「球界再編の経済効果」、「プロ野球のストのマイナス経済効果」、「東北楽天の宮城
県における経済効果」などを発表

2005年 「阪神優勝の経済効果」、「セバ交流戦の経済効果」などを発表

2006年 「清原、中村選手のオリックス入団の経済効果」、「2008年大阪サミット誘致の経
済効果」、「ディープインパクトの経済効果」などを発表

2007年 「世界陸上競技選手権大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の
経済効果」を発表

2008年 「東国原英夫宮崎県知事就任以後の宮崎県と東国原知事の経済効果」を発表
「くいだおれ人形の経済波及効果」を発表
「白毛馬ユキチャンの経済波及効果」を発表
「くいだおれ太郎の経済波及効果」を発表
「阪神タイガース優勝に伴う経済波及効果」を発表
「三毛猫『たま駅長』の経済波及効果」を発表
「ゴルフ・石川遼選手の経済波及効果」を発表

2009年 「WBCの経済波及効果」を発表
「'09食博覧会・大阪の経済波及効果」を発表
「ガンバ大阪の経済波及効果」を発表
「阪神タイガース逆転優勝の経済波及効果：2009年」を発表
「タバコ値上げの経済効果」を発表
「奈良県桜井市の邪馬台国遺跡発見の経済波及効果」を発表
「ゴルフ・石川遼選手の経済波及効果」を発表

2010年 「カナダ・バンクーバー五輪 日本における経済波及効果」を発表